

受託候補者審査基準

基本的な考え方

受託候補者の決定は、評価基準に従い提案内容の評価点とプレゼンテーションの評価点（以下「技術評価点」という。）に見積金額から算出した評価点（以下「価格評価点」という。）を加算し、見積金額などの制限範囲内において総得点（以下「総合評価点」という。）が最も高い者を受託候補者とする。

評価の方法

提案者の獲得する「総合評価点」は、「技術評価点」と「価格評価点」を加算したものとする。

技術評価点は、全委員の平均点とする。（小数点第一位で四捨五入）

要求する要件（機能）・費用等を満たさない企画提案は、失格とし審査の対象となりえないので注意すること。

（１）第１次審査

企画提案書の提出期限後、あま市小中学校ＩＣＴ化推進業務公募型プロポーザル審査委員会（以下「審査委員会」という。）において、次の事項について第１次審査を行う。

- ・企画提案書の内容
- ・見積金額

（２）第２次審査

第１次審査の結果、評価点が上位４者を審査委員会において、次の事項について第２次審査を行う。

- ・プレゼンテーション審査
- ・プレゼンテーションは令和６年９月２７日（金）を予定している。
- ・プレゼンテーション時間
準備：５分以内
プレゼン：２５分以内
質疑応答：２５分以内
片付け：５分以内
- ・参加人数
プレゼンテーションへの出席者は、ＰＣ等の操作員を含め４名以内とする。
- ・使用備品
必要な機材は参加者が用意すること。ただし、スクリーン及び電源４口は本市が用意する。

配点

総合評価点（３００点満点）＝技術評価点（２４０点満点）＋価格評価点（６０点満点）

※合格基準点については１６５点とする。なお、提案者が１者のみの場合、審査の結果において、評価点が合格基準点以上である時は、その者を受託候補者とする。

総合評価点 ３００点	技術評価点	提案書評価点 ２００点
		プレゼンテーション評価点 ４０点
	価格評価点 ６０点 【価格評価点計算式】（１－見積金額÷予算額）×６０	

※総合評価点が最も高い者が２者以上ある場合の対応

- ・審査委員会委員長が決するものとする。

評価について

技術評価点は、「提案書評価点」に「プレゼンテーション評価点」を加算したものとする。
 提案書評価は、「提案書評価項目表」に基づき評価する。
 プレゼンテーションは、「プレゼンテーション評価項目表」に基づき評価する。

【配点設定】

区分	No.	評価項目	配点
提案書評価点	1	基本方針	20
	2	プロジェクトの進め方	30
	3	業務実施要件	20
	4	I C T環境要件	100
	5	その他	30
	小計		
プレゼンテーション 評価点	6	取り組み姿勢	10
	7	信頼がおけること	15
	8	的確であること	15
小計			40
合計			240

【提案書評価項目表】

分類	提案書記述依頼事項	評価ポイント	ページ 数上限
1. 基本方針			
1	本市の目指す I C T環境の実現に向けた取り組み	①仕様書に示す業務の目的及び基本方針に対する理解 ②提案者が I C T教育に対していかに貢献してきたかを具体的に示すこと。	A 4 2枚
2	本業務を進める上で基本的な考え方	①構築と保守の取り組み姿勢が分かりやすく明確で信頼の置けるものであるか。	
基本方針に対する技術点		20	点
2. プロジェクトの進め方			
3	スケジュール	①学校業務に照らして適当なスケジュールになっているか。 ②具体的で学校業務と一致しているか。	A 4 1枚

			トーンなど進捗管理の上で重要となるポイントや時期について示すこと。可能な範囲でサーバ導入時期、データセンターとの接続開始時期、各端末の導入時期などを示すこと。	③クリティカルパスやマイルストーンなど進捗管理上、重要となるポイントや時期が記述されているか。また、サーバ導入時期、データセンターとの接続時期、各端末の導入時期等が記述されているか。	
	4	体制	①本業務における構築時及び保守運用時の体制を図で示すこと。 ②各要員の役割を明示した上で、その考え方、根拠の説明を示すこと。 ③再委託を予定している場合は、再委託の考え方、再委託先との役割分担についても示すこと。 ④各要員（責任者）の詳細情報（資格、経歴・実績、得意分野、経験年数）を示すこと。	①本業務を進める上で必要な体制が提案されているか。 ②各要員の能力や経験が十分で、必要な人数が揃っており、明確な役割分担となっているか。 ③各部署の連携は十分か。	A 4 1枚
	5	類似実績	①本市と同等以上の自治体公立小中学校における校務支援システムまたは校務系ICT環境構築・保守業務の受託実績（自治体名、契約名、導入・開発期間、契約金額等）とその構築内容（主な機器・機能と実現方法）について示すこと。	①提案する事業者の類似実績は十分か。（「本市が想定した水準（素点3点）」は、1年以内に実績を保有しているレベルとする。）	A 4 1枚
プロジェクトの進め方に対する技術点				30	点
3. 業務実施要件					
	6	ICT環境構築のプロジェクト管理	①各工程における進捗管理、課題管理等のプロジェクト管理の考え方を示し、作業遅延や大幅な手戻りなど、工程管理上の遅延が発生した場合の考え方について具体的に示すこと。	①プロジェクト管理の考え方、方法、具体的な目標等が明確に整理されており、大幅な遅延を未然に防ぐための対策に実現性等があるか。	A 4 1枚
	7	ICT環境の保守	①保守要件を理解し、提案者が考える保守の業務内容、役割分担の全体を示すこと。	①業務の目的に合致した保守内容が提案されているか。 ②提案者と指定保守業者、本市教育委員会及び学校教職員の作業内容や役割	

			分担が妥当性のある内容か。	
業務実施要件に対する技術点			20	点
4. ICT環境構築要件				
8	全体構成イメージ	①分かりやすい全体構成イメージを図示すること。 ②本市のネットワークイメージ図を基に提案する全体構想を分かりやすくまとめる。	①本業務で求めている内容が満たされているか。	A4 1枚
9	サーバ群構成要件	①サーバ群（一部クラウド使用を含む）構成について図示すること。使用機器種類（仮想サーバ、物理サーバ、NASなど）とOS、フォルトトレランス等、FW、Router、L3等の接続・設定イメージを示すこと。	①本業務で求めている内容が満たされているか。	A4 1～2枚
10	セキュリティ要件	①前項の図示を基にⅠサーバ群の設計上、Ⅱサーバリモートメンテナンス、Ⅲヘルプデスク、Ⅳネットワーク分離それぞれのセキュリティを守る仕組みを詳しく説明すること。	①仕様で求めている内容がどのような技術な裏付けで満足されているか。	A4 1～2枚
11	校務支援等システム要件	①仕様書に則りシステムの機能と実績について示すこと。 ②統合型校務支援システム、保護者連携、学習系システム連携、出退勤管理、CMS、図書システム全ての機能と連携について分かりやすく説明すること。 ③次期、フルクラウド対応を計画しており、そのロードマップの説明をすること。	①本業務で求めている内容が満たされているか。 ②クライアントからブラウザで安定稼働するWEBベースでのシステムであること。動作環境ブラウザを示すこと。 ③学習系システム、既存システム、CMS、勤怠管理、保護者システムとの連携が考慮されている。 ④先行自治体での採用実績は十分でかつ高評価であり将来性が期待できるか。	A4 4枚
12	セキュリティ対策要件	①主に別紙仕様書のセキュリティ対策について資産管理システム、セキュリティ対策システムの設定方針及び運用について説明すること。	①本業務で求めている内容が満たされているか。	A4 1枚
13	認証要件	①システムの機能（リモート接	①本業務で求めている内	A4

			続含む) と実績について示すこと。 ②校務PC起動から校務情報系へのログオン、校務系へのログオフ、ファイルのコピー方法をフローチャートで示すこと。	容が満たされているか。 ②先行自治体での採用実績は十分でかつ高評価であるか。 ③セキュリティ担保と操作性が両立したシステムであるか。	2枚
	14	校内校務PC等設定要件	①既存校務PC設定変更、校務ファイルサーバデータ移行の方法、CMSページ移行、LAN工事の具体的な進め方について示すこと。	①既存システム停止期間の最小化を図り学校現場に無理なく導入可能な内容であるか。	A4 2枚
ICT環境構築要件に対する技術点				100	点
5. その他					
	15	具体的な保守運用シーン	①本業務の保守窓口における具体的な以下のシーンの初動から原因追及、解決までの手順と方法、経過時間、作業者が誰であるか指定保守業者との責任分解点も明示しフローチャートにすること。	①具体的な学校現場の使用実態を踏まえて書かれているか。 ②手順と役割が明確化されているか。	A4 2枚
	16	追加提案	①その他、仕様書以外で創意工夫により追加で提案がある場合は、示すこと。		A4 2枚
その他に対する技術点				30	点

提案書 合計 200点

【プレゼンテーション評価項目表】

No	評価項目	評価ポイント
1	取組姿勢	本市と協力して、プロジェクトを成功に導く意思が見えるか。
		要望に対する柔軟な姿勢が感じられるか。
2	信頼性	責任者から、リーダーシップを感じ取れたか。
		説明が論理的で一貫性があり、説得力を有しているか。
		提案書の記載内容と不整合がなく、確実な実現が伺えるか。
3	的確性	質問に対し、意図を理解し、提案事業者の知識や経験を基にした具体的かつ的確で簡潔な回答が行えていたか。
		事務に対する知識が十分であるか。
		個々の質問に対する回答は本業務の仕様や要望に対応できるものであるか。
合計点		40点

以上